月形町 議会だより

No. 45
2026. 8. 5



「みのり工房」を現地視察（本誌４ページ）

第２回定例会…… 2
第２回定例会　質疑応答…… 3
まちづくり常任委員会報告…… 4
第２回臨時会…… 6
北海道町村議会議員研修会…… 7
舞い降りて月形 / 編集後記…… 8

今号の議会の流れ

5月15日　第2回臨時会
6月3日　第2回定例会
6月23日　まちづくり常任委員会
6月29日　まちづくり常任委員会町外視察
7月2日　北海道町村議会議員研修会

令和8年 第２回定例会

第２回定例会は、６月３日に開催されました。議案８件、承認２件、同意案１１件、報告２件、意見案２件、会議案１件について審議が行われ、すべて原案のとおり可決・同意・承認されました。

令和７年度補正予算

■一般会計

●ふるさと納税基金への積立金を２億4132万円増額した。
●防災資機材整備などに備え、北海道市町村備荒資金組合へ１億3500万円を積み立てた。
●少雪により、除雪対策経費を3124万６千円減額した。
●岩見沢月形線バスの自治体負担分は、利用者増、国庫補助、料金収入により不要となった。

令和８年度補正予算

■一般会計

●まちづくり推進室事業として、北海道大学の学術コンサルティング制度を活用するアドバイザリー業務90万円を計上した。
●旧中和小学校教員住宅の解体工事234万３千円を計上した。
●篠津山霊園に屋外防犯カメラ２台を設置するため、７４万７千円を計上した。
●皆楽公園周辺の駐車場整備682万円を計上した。
●麻生団地５号棟の解体工事983万４千円を計上した。
●スクールバスの可動式ステップ修繕費78万９千円を計上した。

■国民健康保険

●物価高騰などによる生活への影響を考慮し、加入者の負担を抑えるため、国民健康保険税率等を見直した。試算では、令和７年度と比べ、年間で１人当たり平均１万8507円、１世帯当たり平均２万6611円の減額となる見込みである。財源不足分は、国保財政調整基金を活用する。

■介護保険事業

●歳入歳出をそれぞれ175万８千円増額した。
●法改正に伴う介護保険システム改修費を計上した。
●居宅介護住宅改修費の利用者増に対応した。
●職員昇格に伴う手当、成年後見人報酬などを計上した。

■農業集落排水事業

●月形終末処理場の原水ポンプ設備の一部交換のため、217万８千円を増額した。

条例改正・条例制定を可決

●印鑑登録事務に係る情報システムの標準化に対応するため、条例の一部を改正。
●「こども誰でも通園制度」の開始に伴い、事業の運営基準を定める条例を制定した。

トレーラーハウス２棟の取得

●二地域居住や移住・定住人口の拡大を目的として、大型トレーラーハウス２棟を、4070万円で取得することとした。

農業委員会委員11人の任命

●農業委員会委員11人の任命について、すべて同意した。（任期は令和８年７月20日から令和11年７月19日までの３年間）

月形町振興公社の経営状況

●令和７年度は、保養センター改修後、初めて１年間を通して全施設を運営した年となった。
●道の駅効果により、夏季を中心に多くの来訪があった。一方で、燃料費・資材費の高騰、トマトジュース販売の一時休止、会計処理の変更などにより、当期純損失は810万620円となった。売上高は２億6962万5997円であった。

意見書の提出を決定

●ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実強化を求める要望意見書。
●地方財政の充実強化に関する要望意見書。

審議内容質疑応答
（一部抜粋）

令和7年度一般会計補正予算

■備荒資金の積み立て総額

問 備荒資金の積立て後の総額はいくらか。（滝口）

答 北海道市町村備荒資金組合への積み立てを1億3500万円を追加し、総額は7億1128万5640円となる。将来の防災資機材整備などに備えるものである。（総務課長）

■岩見沢月形線バスの負担が減額

問 地域公共交通対策事業が大きく減額となった理由は何か。（我妻）

答 岩見沢月形線は、国庫補助と料金収入により運行経費を賄うことができ、関係自治体による赤字補填が不要となったため、本町負担分を減額した。利用者増などにより、当初見込みより収入が多かった。（企画振興課長）

令和8年度一般会計補正予算

■皆楽公園駐車場整備で

問 皆楽公園周辺の駐車場整備で、何台分増えるのか。（西山）

答 普通乗用車で30台程度を見込む。道の駅や温泉施設への来訪車両が増えていることから、安全確保と混雑緩和を図る。宿泊者専用駐車場は、今後、安全面も含めて協議する。（企画振興課長・副町長）

■篠津山霊園に防犯カメラ

問 篠津山霊園の防犯カメラは、他施設にも広げるのか。（若井）

答 まず火葬場待合所周辺に2台を設置し、犯罪抑止効果などを確認する。他の公共施設は、プライバシーや設置場所を考慮し、必要に応じて検討する。（副町長）

■まちづくりアドバイザーとは

問 まちづくりアドバイザリー業務では、どのような助言を受けるのか。（松田・滝口）

答 北海道大学の制度を活用し、義務教育学校を含む公共施設の在り方やデザイン性について助言を受ける。保育園留学などで町に関心を持つ人を、今後のまちづくりにつなげるソフト面も対象である。進捗は役場内で共有する。（副町長・企画振興課参事）

■まちづくりの取組みは前向きか

問 義務教育学校を含むまちづくりは前向きに進めるのか。（金子）

答 懸念されるようなことにならないよう、しっかり実施していく。（町長）

国民健康保険税の見直し

■保険税引下げの影響

問 国民健康保険税を引き下げることで、将来の統一保険料に影響はないのか。（東出・滝口）

答 基金を積み増さず、加入者へ一定程度還元しながら、令和12年度の北海道統一保険料への移行を見据え、バランスを取り試算する。今回は基金活用により標準保険料率の60％程度まで下げることになるが、統一保険料に移行した時には、残り40％分が上乗せされるイメージである。（住民課長）

月形町振興公社の経営状況

■マルチタスク化とは

問 「マルチタスク化」とは何か。社員教育面の課題はないのか。（我妻）

答 フロント、レストラン、施設管理などを専属専従にしないで、部門間で応援し合い、幅広い業務を担う体制を目指す。一方、限られた人員の中で教育時間を確保することは難しく、現体制の中で少しずつスキルアップを図る。（企画振興課長）

■物販を伸ばすには

問 町民割の利用や、売店の物販を伸ばす具体策はあるのか。（滝口）

答 町民割は思ったほど利用が伸びていないため、町広報紙なども活用して利用を促す。売店は客単価1000円超を目標に、商品の充実、オリジナル商品や町内事業者の商品取り扱いを進める。（企画振興課長）

■コンプライアンス研修は

問 社員教育としてコンプライアンス研修を行う考えはあるのか。（滝口）

答 社員教育には十分な時間や費用を割けていないのが現状である。令和7年度は全社員対象の接遇研修を実施した。コンプライアンスは重要であり、今期も何らかの社員研修を検討している。（企画振興課長）

■キッチンカーの出店基準は

問 キッチンカーの出店基準は決まっているのか。（若井）

答 ゆりかご正面玄関右側付近を基本に最大3台を想定する。レストランメニューとの重複回避、安全面、町内事業者優先などを踏まえて出店管理を行う。冬場は今期の実績を見て検討する。（企画振興課長）

■公社の赤字解消は

問 振興公社の赤字をどう改善するのか。（金子）

答 令和7年度は当期純損失810万6620円となった。トマトジュース販売休止や製造本数減、レストラン・保養センター部門の不振が影響しており、改善策を進め、2～3年ほどで赤字解消を目指す。（副町長）

令和8年度

まちづくり常任委員会 所管事務調査 報告

教育委員会

委員会室、現地視察

「中学校校舎の状況について」

速やかな対応と修繕が必要！

義務教育学校整備の延期など、新校舎の建設が見通せなくなり、現在の校舎の補修・修繕の必要性が高くなっている。

- 体育館天井の水銀灯15個中7個が球切れ
- 2階廊下の天井からの漏水
- 屋上への出入り口の腐食
- 渡り廊下の壁の亀裂

緊急性のある事案として、この他にグラウンドのバックネットの劣化、屋上の縁の脱落、体育館床下への外からの水の流入などが確認されて、教育環境や生徒の安全の確保のために、速やかな対応と修繕が必要であると判断される。小学校においても、補修・修繕の必要性は同じである。



農林建設課

委員会室、現地視察

「みのり工房の運営状況について」

トマトジュースの生産体制の再構築を

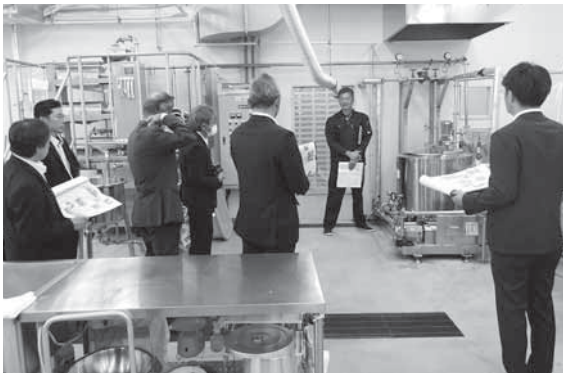
トマトジュースの現状

- 製造本数の減少
  ↓原料トマトの生産者の減少、町外事業者への販売休止
- 人手不足対策に製造ラインの改修
  ↓3分の1の人員削減効果
- 利用の減少

農産加工室の現状

指定管理者である月形町振興公社は、原料トマト生産者の確保のため①苗代金の補助、②原料買取価格の増額、③集荷体制を強化して、確実な集荷体制の構築を図る。また、生産体制の再構築のため、製造ラインにおける自動化の導入で人的配置、作業環境の改善が期待される。

農産加工室の利用は、一般利用や試作研究、開発の利用が減少している。



まちづくり常任委員会

町外視察　千歳市

これからの建築工法としての「ムービングハウス」



「会社概要とムービングハウスの特徴について説明を受けました」

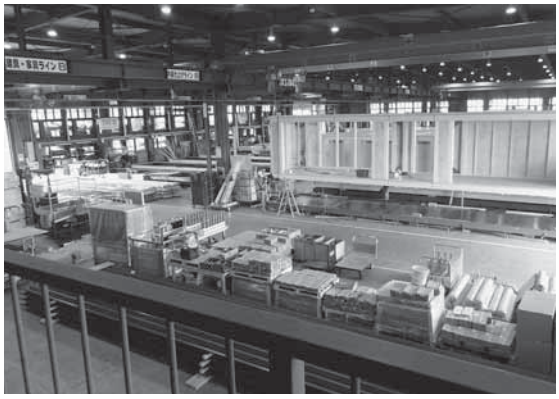
・会社説明

まちづくり常任委員会では、千歳市の株式会社アーキビジョン21を視察。同社は工場において船舶コンテナサイズの規格で住宅・事務所を製造し、トラックで現地へ運んで設置する「ムービングハウス」を手掛けており、月形町でも新規就農実習者用住宅として2棟導入されています。

視察では、製造工程や断熱・耐久性能、設置方法、維持管理のほか、全国の自治体での活用事例について説明を受けました。工場で品質を管理しながら製造することで、短期間での設置や移設など用途変更が可能な点が特徴。住宅の安全性や利便性を確認するとともに、今後の地域づくりや防災など幅広い活用の可能性について理解を深めることができました。



「工場内で住宅ユニットの製造工程を見学しました」



「品質管理のもと製造される工場内部を見学しました」



「完成したムービングハウスの構造や外観を確認しました」



「モデルハウスで居住空間や設備を見学しました」

・所感

今回の視察を通じて、ムービングハウスは安価、短期間で設置できるだけでなく、高い断熱性や耐久性を備え、将来的な移設や用途変更にも対応できることを確認しました。住環境の確保、定住促進、そして公共施設の整備にもつながることが予想されます。今後は実際の利用状況や維持管理、さらなる活用方法についても注視し、町民の皆さんにとって効果的な事業となるのか議会として調査・検証を続けてまいります。（若井）

令和8年 第２回臨時会

第２回議会臨時会は、５月１５日に開催され、付議された案件について審議が行われました。議案３件、同意案 １ 件、会議案１件の計５案件が上程され、いずれも原案どおり可決または同意されました。

柔道 岡田陸選手を応援

「令和８年度月形町一般会計補正予算（第１号）」
歳入歳出それぞれ１６万８千円を増額し、総額を５２億６６１６万８千円とするもので、月形小学校出身の柔道選手・岡田陸選手の活躍を応援するための経費を増額。岡田選手は全日本選抜体重別選手権９０キロ級で優勝し、９月の愛知・名古屋アジア大会日本代表にも選出されており、町では懸垂幕や看板を役場と小学校に掲示することとし、財源は財政調整基金からの繰入金で対応。

「財産の取得について」（圧縮梱包機の取得）
プラスチック製容器包装等の圧縮処理に使用する圧縮梱包機を取得するもので、取得金額は１７７６万５千円。北海道市町村備荒資金組合の防災資機材譲渡事業を活用し、同組合が機器を取得後、町へ譲渡され、町が５年間で分割して支払う仕組み。

「財産の取得について」（草刈りもできるロータリ除雪車の取得）
町道の除雪および維持管理に使用するロータリ除雪車と付属の草刈り装置を取得するもので、指名競争入札により契約され、取得金額は４９０６万円。

「月形町固定資産評価員の選任について」
人事異動に伴い、後任として上葛隆治氏を選任することに同意を求めたもの。

「議員派遣について」
・栗山町議会基本条例制定２０周年記念事業に副議長を派遣
・全国町村議会議長・副議長研修会に議長、副議長を派遣

活動経過報告

4月3日　広報特別委員会
6日　新篠津村議会来庁（正副）
8日　広報特別委員会
15日　広報特別委員会
16日　広報特別委員会
21日　広報特別委員会
22日　月形高校存続に関する要望活動
27日　北海道矯正管区長来庁（正副）
5月15日　**全員協議会**
第２回臨時会
月形商工会通常総会（議長）
17日　栗山町議会基本条例制定20周年記念事業
22日　第３回議会運営委員会
26日　全国議長会議長・副議長研修会（正副）
29日　広報特別委員会
6月3日　**全員協議会**
第２回定例会
7日　**月形町議会議長杯ＰＧ大会**
10日　広報特別委員会
11日　**自衛隊家族会・自衛隊協力会総会**
18日　**月形刑務所職員との歓迎交流会**
23日　**まちづくり常任委員会**
26日　広報特別委員会
町民交通安全パレード
29日　**まちづくり常任委員会視察**
7月2日　**道議長会議員研修会**
3日　**戦没者御慰霊戦没者追悼式**
広報特別委員会
10日　**南空知町村議会議員親睦パークゴルフ大会**
13日　広報特別委員会
15日　**岩見沢地区消防事務組合消防本部視察研修**
空知議長会議員研修会
28日　**全員協議会**
第３回臨時会
太字…基本全員参加
議長の単独会務については省略

北海道町村議会議員研修会

7月2日

●牧瀬　稔氏（関東学院大学教授）

●須田　慎一郎氏（ジャーナリスト）

地方議員への12の政策アイデアから人口維持を目指す実践事例



牧瀬　稔氏

地方創生の本質は「人口減の克服」と「地域の活性化」であり、議員活動の目的は住民福祉、すなわち住民の幸福感を高めることにあると説明された。人口対策では、自然増か社会増かを明確にし、出生数の増加、死亡数の抑制、転出抑制、転入促進のどこに重点を置くかを、データに基づいて判断する必要があるとされた。また、戸田市、流山市、明石市などの事例から、政策は漠然と全体に向けるのではなく、ターゲットの層や地域を絞り、限られた財源と人材を集中させることが成果につながると紹介された。議会には、行政の政策の優先順位や効果を検証し、国の制度にただ従うだけでなく、地域の実情に応じた挑戦的な政策を後押しする役割が求められる。

どうなる政治・経済 ～日本再生のために何が必要か～



須田　慎一郎氏

日本経済の見通しを考えるには、GDPや物価、雇用などの経済指標だけでなく、政治の動きや政権の政策方針を読み解く必要があると述べられた。高市政権については、施政方針演説の多くが景気・経済対策に充てられ、「責任ある積極財政」が看板政策であると説明された。これは単なるばらまきではなく、将来の成長や税収増につながる分野に財政を投じる考え方であり、ガソリン暫定税率廃止や消費税減税の議論もその延長にあるとされた。

一方、国会では皇室典範改正や議員定数削減をめぐる混乱もあり、骨太方針や予算編成の行方が地方経済にも影響すると指摘された。

また、日本経済の大きなリスクとして、長年の設備投資不足による供給能力の低下が挙げられた。需要が回復しても、生産設備や人材が不足すれば物価だけが上がり、賃金や所得の上昇につながらないおそれがある。今後は国の財政運営が単年度均衡から複数年度的な考え方へ転換する可能性があり、地方も国の投資方針を的確に把握し、農業・製造業・中小企業など地域産業の設備更新や生産力強化にどう結びつけるかが重要になる。先手を打つ姿勢が求められ、地域の議会の視点も問われている。



所感

牧瀬氏からは、人口減少時代にどうするか、どう乗り越えていくかを学ぶことができ実践する必要性を感じました。須田氏からは、生産現場での設備投資がなされず、供給能力がない状況で、日本経済に大きなリスクとなり、地方自治体も他人事ではありません。（松田）

月形の空で ドローンの可能性！

ジャパンアグリサービス北海道
株式会社 OWL 麓（アウルろく）
代表取締役 **増田（ますだ） 慎一（しんいち） 氏**



第11回 舞い降りて月形 住んで、見て、感じた月形は！

Q ご出身と、月形に来られたきっかけを教えてください。

A 札幌出身です。以前は全国を回る仕事をしていましたが、ドローンに魅力を感じ、農業用ドローンの仕事に携わるようになりました。月形には妻の家族の縁があり、お盆などで以前から訪れていました。そうしたご縁と、農業用ドローンの仕事ができる環境を考え、月形を選びました。来てから足かけ4年目になります。

Q 現在のお仕事の内容は？

A 農業用ドローンを中心に、機体の販売、操作講習、メンテナンス、農薬散布の請負などを行っています。私自身もインストラクターとして、安全に使うための講習にも関わっています。農業だけでなく、点検や測量、防災、鳥獣の確認など、ドローンにはさまざまな可能性があると感じています。

Q お仕事以外で好きなことはありますか。

A サッカーが好きです。自分でもプレーしていましたし、子どもたちもサッカーをしていたので、父親コーチのような形で関わった時期もありました。家でも子どもから「お父さん」ではなく「監督」と呼ばれることもあり、今では懐かしい思い出です。

Q 月形の印象はいかがですか。

A 昔から良い印象はありましたが、実際に住んでみて、あらためて人の温かさを感じています。出会った方々には感謝しかありません。困った時に助けてくれる方が多く、一つ一つの仕事や対応に真面目さがある。そういう姿を見ると、自分も頑張らなければと思います。月形は安心して暮らせる町だと感じています。



Q 外から来た立場で感じることはありますか。

A 歴史や自然など良いものがある一方で、これからの月形を考えると、町の核になるようなものをどう作っていくかが大切だと思います。子どもたちが元気に活動できる場、スポーツや学び、地域の楽しさが重なっていく仕組みがあると、町全体の活気につながるのではないでしょうか。

Q これから月形で取り組みたいことは。

A まずは農業用ドローンの仕事を通じて、地域の農業に貢献していきたいです。そのうえで、町の皆さんが「ドローンって面白い」「こんな使い方があるんだね」と感じられる入り口になれたらうれしいです。

【インタビューを終えて】

ドローンを通じて農業や地域に貢献したいという増田さんの思いが伝わってくるインタビューでした。これから月形の空に、どんな新しい可能性が広がっていくのか楽しみです。

発行日：令和8年8月5日　発行：北海道月形町議会　編集：広報特別委員会

〒061-0592 北海道樺戸郡月形町1219番地 TEL0126-53-2321（内線372） FAX0126-53-4373
E-mail:gikai@town.tsukigata.hokkaido.jp

広報特別委員会

委員長	松田順一	
副委員長	我妻耕二	
委員	若井昭伸	
委員	滝口	

まちづくりは、一つひとつの判断の積み重ねです。目先の結論を急がず、町民の皆さんと共に、将来世代に責任を持てる議論を重ねていきたいと思います。（滝口）

〒061-0592 北海道樺戸郡月形町1219番地
TEL (0126) 53−2321　FAX (0126) 53−4373
E-mail：gikai@town.tsukigata.hokkaido.jp